

私たちはご利用者の生活を支援するために24時間がんばります！

# ローゼン Rosen だより

2024年 4月号

<発行元>

社会福祉法人千葉県福祉援護会

〒273-0047

千葉県船橋市藤原 8-17-2

(ホムア・ジ)

<https://engokai.or.jp/>

(メール)

[info@engokai.or.jp](mailto:info@engokai.or.jp)

## 地域の皆様の世代間交流と集いの場の大切さ 「第1回 山のうえのカフェ」

報告：地域福祉推進委員会 山本 涼子



この数年のコロナ禍。当法人においても、得体の知れない感染症に当初から危機感を持ち、「持ち込まない・広げない」を合言葉のように職員一人ひとり意識して向き合っていました。入居施設はもちろん、在宅にて生活されているご利用者やご家族、地域の皆様も自粛生活を余儀なくされたことと思います。この状態が数年続いた間に、地域コミュニティの活動の中止や解散など活動や参加の場が減少し、閉じこもり生活が続いたことで、心身の機能低下が進み、高齢者や障がい者の方々の生活の質が下がってしまったことについて、全国的にも課題として議論されるようになりました。

当法人の地域福祉推進委員会としては、この現状を受け止め、委員会内の高齢・障害・保育の各分野の委員で検討メンバーを形成し、「集いの場」として気軽に集まれる機会を作りたいという思いを形にすべく、打合せを重ねてきました。「山のうえのカフェ」というネーミングは、山の上に建っている施設であることから、自然豊かな敷地に気軽に皆さんが足を運んでくださるようお願いを込めてつけたものです。地域の高齢者の方を中心にご案内し、在宅福祉センター ヴェルフ藤原内にあるレストラン デニッシュにて、令和5年11月11日に初めての「山のうえのカフェ」を開催。地区社協、近隣の中高校生、また就労支援事業所の通所者を含めた28名の方が参加されました。簡単な軽食や自己紹介を通して、早速近所の方との再会を喜び、初めてお会いする方々同士の交流も見受けられ、温かく中学生へお声を掛けてくださる方、皆で食べる食事は美味しいと言ってくださった方など積極的に交流を深めようとしていたことがとても印象的でした。全員で行った「ボッチャ」は大好評で、また企画してほしいとお声を多くいただきました。



お話を伺っていく中で、「様々な活動がなくなり、みんな行く場所がない」「とても楽しかった、定期的で開催してほしい」といったご意見が多く、直接地域の方との交流を図りお話を伺うことの大切さを再認識し、貴重な時間を過ごせたと思っております。まだこれから検討することも沢山ありますが、皆さんが世代関係なく気軽に集まれる場所づくりを目標に、様々な課題を踏まえながらこれからも開催していきたいと考えています。地区社協・法田中など地域の関係者の皆様、当日お手伝いいただいた皆様、この場を借りてお礼申し上げます。これからも法人一丸となって取り組んでまいります。



## 『生きがい・喜びの創出…社会参加への機会を大切に』

2020年に始まった新型コロナウイルスの流行は、ご入居者、ご利用者の社会参加の場面が著しく制限される状況となりました。2023年5月の感染症法の5類移行後は、社会活動が戻りつつあり、施設においても少しずつではありますが、コロナ禍から脱却しご入居者、ご利用者の社会参加を支援する取り組みを行ってきました。日々ご入居者、ご利用者は熱心に作品作りに励んでいます。その作品の一つひとつは個々の自己表現の形でもあります。時には皆で気持ちを合わせて一つの作品を作り上げることもあります。完成した時の充実感もさることながら、その作品を人に観てもらふことは大きな喜びと、次のチャンレジ意欲につながります。職員も真剣な眼差しで作品と作る姿を応援し、ご入居者、ご利用者と共に喜びを分かち合うことができます。船橋市障害者週間記念事業などの作品展示の機会は、ご入居者、ご利用者にとって、貴重な表現の場となっています。また、千葉県立船橋二和高等学校美術部交流会や外出行事では、地域の方やお店の方との交流などあり、社会とのつながりを実感できます。

### <誠光園、ローゼンヴィラ藤原、アトリエ プレージュの活動>

- 船橋市障害者週間記念事業作品展（イオンモール船橋、船橋市役所）
- 千葉県アートフレンズ展（千葉県美術館） ・とよみ福祉まつり ・塚田まつり
- 小室文化まつり ・千葉県立船橋二和高等学校美術部交流会 ・外出行事

【活動風景】



【作品展示】



【外出行事】



オーヴェルでの菓子やパンの製造販売では、自分が作ったものを購入してもらい美味しく食べてもらうことで、社会に貢献していると実感します。なによりもお客様の「美味しかった。また食べたいな。」という一言が大きな喜びとなり、ご利用者の生きがいにつながります。

### <オーヴェルの活動>

- 鎌ヶ谷グリーンハイツふれあい処
- 手しごとマルシェ（千葉駅）
- 船橋三番瀬海浜公園 船橋環境フェア
- 船橋市法典地区福祉まつり

【販売風景】



感染症対策を行いながらもご入居者、ご利用者の社会参加を大切に、地域の一員として、生きがいや楽しみをもって心豊かな暮らしを送ることができるよう『ご入居者・ご利用者の想いに寄り添い、生きる力の支援＝生きがいの支援』を考え、実行していきたいと思っております。

## 【 将来を見据えた認知症ケアの取り組み 】

2025年には約700万人が認知症となり、高齢者の5人に1人が認知症になると予測されています。ローゼンヴィラ藤原式番館・参番館では、認知症になっても安心して過ごせる環境を整える目的で2010年から認知症ケア係を立ち上げて活動しています。

認知症ケアを行う上で「パーソン・センタード・ケア」という考え方を重視し、全職員で取り組んできました。「パーソン・センタード・ケア」とは、1980年代にイギリスの心理学者トム・キッドウッド氏により提唱された、認知症を持つ方をひとりの人として尊重し、その人の立場に立つて行うという考え方です。係を立ち上げる前までは、認知症の方の行動や言動に対して、その場限りの対応に追われることが少なくありませんでした。しかし、「パーソン・センタード・ケア」を行う中で、認知症の方の行動や言動には意味があり、その方独自の生活習慣等から複雑に絡み合っている行動であることがわかり、その方の立場に立つて考えられるようになり、様々な良い影響を与えられるようになりました。

2019年からは、より取り組みの評価が見えるように“その方の安心の度合いに対して”個別に基準を設け、取り組みの数値化を行いました。数値化をする事により、取り組み前後の評価が見え、ご入居者の方が不安に感じられる場面が減り、笑顔で落ち着かれる時間が増えていきました。また、法人の事例研究発表会や老施協主催の事例研究発表会にて認知症ケアの取り組みを発表させていただきました。

最近では、認知症関連の話題がメディアでも取り上げられることが増え、世間的にも関心が得られるようになってきています。2023年6月には、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が新たに成立し、2023年9月には、アルツハイマー病の新しい治療薬「レカネマブ」が日本で正式に承認され、認知症関係の大きなニュースとなっています。2024年度の介護報酬改定でも認知症ケアについては重要なものと位置付けられ、より専門性を持ってチームで対応力の向上に努めることとされています。

私たち認知症ケア係は、社会的な情勢・動向を捉えながら、将来を見据えた先駆的な認知症ケアを目指し、認知症になってもその人らしく、“心豊かに”安心して過ごせる環境作りに今後も取り組んでいきたいと思っております。



## 【子育て支援事業～すくすくそがっこ子育てサロン～】

ローゼンそが保育園では、保護者・地域の方が楽しく育児が出来るよう応援させて頂いております。育児は一人をするのではなく、みんなで協力し、助け合い、楽しくできれば子どもたちにとっても幸せだと思います。地域の子育て支援活動として「すくすくそがっこ子育てサロン」と名称を新たに、令和5年度より子育て支援事業を再開しました。今年度は、7月～1月の間、月に1回、全7回を開催し、延べ17家庭の親子にご参加頂きました。0歳～6歳の未就学児とその保護者を対象に10:00～11:00の1時間、その月ごとに、絵本、大型絵本、手遊び、パネルシアター、体操、わらべうた、お楽しみ会、伝承遊び等の活動を設定するとともに、在園の子どもたちと交流をしたり、園で普段遊んでいる玩具や遊具で遊んだりして楽しんで頂きました。



主に育児休業中の親子の方が利用され、育児の悩みを相談される方が多く、保護者の話を傾聴する中で、少しでも子育てのヒントを得たり、少しでもリフレッシュできる時間になったりするように心掛けました。毎月参加される方もいっしょに、交流を深めることもできました。また、参加したお子様の年齢と近い在園児と交流をすることで、子育てに見通しを持ったり、我が子の成長を感じたりする保護者の方もいっしょにいました。参加された保護者の方からも「参加して良かったです」「楽しかったので来月も参加します」等の言葉を頂き、とても温かい気持ちになりました。



「すくすくそがっこ子育てサロン」の他にも、地域の親子を対象に平日（月～金）9:00～12:00で園庭開放をしています。また、「赤ちゃんの駅」登録施設でもあり、授乳・オムツ替えスペースの提供をしています。

このような子育て支援事業を通して、地域の子育て支援の大切さを再確認しつつ、今年度もより良い子育て支援事業となるように取り組んでいきたいと思っております。

### 令和5年度 ご寄付・ご祝儀一覧

令和5年9月1日～令和6年2月29日に法人各施設にご寄付及びご祝儀をいただきました皆様です。ありがとうございました。  
※事前にご承諾いただきました方のお名前を掲載させていただいております。そのほか13名様に寄付いただいております。  
ご寄付いただきました全ての皆様に御礼申し上げます。

ご寄附	ご寄附	ご祝儀	ご寄贈	協賛品ご提供
法典中央町会 様	富士見下町内会 様	ほほえみ薬局 様	石川 美由紀 様	—
塚田 和子 様		防災技術センター(株) 様	古川 茜 様	
山下 寧子 様		(株)レイズウェイ 様		(順不同)
松本 勇治 様				
望月 昌子 様				

